

このリストは、図書館の職員が、中学生のみなさんに
読んでほしい本を選んだものです。

品川図書館	北品川 2-3 2-3	☎3471-4667
二葉図書館	二葉 1-4-2 5	☎3782-2036
荏原図書館	中延 1-9-1 5	☎3784-2557
南大井図書館	南大井 3-7-1 3	☎3761-6780
源氏前図書館	中延 4-1 4-1 7	☎3781-6273
ゆたか図書館	豊町 1-1 7-7	☎3785-6677
大井図書館	大井 5-1 9-1 4	☎3777-7151
五反田図書館	西五反田 6-5-1	☎3492-2131
大崎図書館	大崎 2-4-8	☎3495-0660
八潮図書館	八潮 5-1 0-2 7	☎3799-1414

休館日、開館時間などは、各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

2013. 10 発行

Let's Read!

中学生



『もういちど家族になる日まで』

スザンヌ・ラフルーア 作

永瀬 比奈 訳

徳間書店

品川区立図書館

『鷹のように帆をあげて』

まはら ^{みと}三桃 著
講談社



ある事がきっかけで、元気をなくした理央。
鷹を飼いたいと言う理央のことばに、父母は理央が元気になればと賛成してくれた。「モコ」と名づけられた鷹の訓練が始まったが、なかなか飛べない。鷹匠の女子高生を訪ね、「モコ」の訓練は進んでいった。一方、友人の康太は寺の養子だが、会いたいと言ってきた実母に会うべきか悩んでいた。康太の出した結論は？
「モコ」は飛べたか？そして理央は？

『もういちど家族になる日まで』

スザンヌ・ラフルーア 作 永瀬 比奈 訳
徳間書店



パパと妹を自動車事故で亡くしてしまった 11 歳のオーブリーは、ママと二人で暮らしていたが、ある朝、ママはなにも言わず家を出ていってしまう。一人きりのさびしさ、不安で悲惨な生活が一週間続く中、祖母が気づき、オーブリーは引き取られることに。家族を事故で失い、母に置いていかれ、心に深い傷を負った少女が、周りの人々のやさしさに包まれ、立ち直っていく姿を描いています。

『介助犬を育てる少女たち 荒れた心の扉を開くドッグ・プログラム』

大塚 敦子 著
講談社

少女たちはアメリカ・カリフォルニア州にある「シエラ・ユース・センター」と呼ばれる更生施設で生活している。

ここではさまざまなプログラムがあるが、そのなかでも特徴的なのが、「ドッグ・プログラム」と呼ばれる介助犬の訓練だ。

非行をしてしまった少女たちは犬と出会い、訓練を重ねるごとに絆を深めていく。この経験で少しずつ少女たちは成長していきます。



『ふたつの月の物語』

富安 陽子 著
講談社

富豪の津田という女性が、身寄りのないふたりの少女を別荘に招いた。養護施設で育った美月と、育ての親を亡くしたばかりの月明。ふたりは、それぞれ誰にも言えない秘密を持っていた。

悲しみのにおいがただよう屋敷で、名前に月を持つふたりの少女は、津田の目的を探るうちに、互いに惹かれあい、思いもよらない秘密に近づいていく。



『自然に学んだすごい！技術 ヤモリの指から不思議なテープ』

石田 秀輝 監修 松田 素子 江口 絵理 文
西澤 真樹子 絵
アリス館



自然に学ぶ技術、それが、ネイチャー・テクノロジー！ヤモリはなぜ、天井を歩きまわれるのか？カタツムリの殻はなぜ、いつみてもきれいなのか？あたりまえだと思っていることを、あたりまえだと思わずに、よく見て、じっくり考えて、探ってごらん！それには、たくさんの不思議や秘密が一杯です。地球の上で、長い時をかけ、試されて、変化し、工夫されたすばらしいものが、あなたのそばに、自然のなかにあるよ。

『ラビットヒーロー』

如月 かずさ 著
講談社



特撮マニアの高校生、宇佐は、地味で気が弱い
小心者。デパートのおもちゃ売り場で出会った
双子がきっかけで、宇佐の住む町、桐生市を守る
ご当地ヒーローになることに。

爽やかで本当のヒーローみたいな先輩、変わり
者の監督とともに、ショーの練習を重ねるが、う
まくいかないことばかり。小さいころから夢見て
いた、自分の名前に懸けた、うさぎのヒーロー。
本当にヒーローになれるのだろうか。

『ロス、きみを送る旅』

キース・グレイ 作 野沢 佳織 訳
徳間書店

ロスが交通事故で亡くなった。
自殺ではないかと言うことばに、反発した親友
3人、15歳の少年、ブレイク、シム、ケニー。
ロスの遺灰を持ち出し、3人、いや4人で旅に
出た。行き先は「ロス」の名前と同じ「ロス」。
アクシデント続きの旅路の果てに、3人は何を
得たのだろう。



『ぼくの見つけた絶対値』

キャスリン・アースキン 著 代田 亜香子 訳
作品社

数学の天才博士を父に持つ、数学嫌いのマイク。
父をがっかりさせたくないとの思いから、理工学プ
ロジェクト参加のため、ある町へ。

ところが、実際プロジェクトは理工学とは無関
係。あったのは、町をあげて動き出したばかりのビ
ックプロジェクト。

変人ぞろいのこの町で、プロジェクトの成功はあ
りえるのか。マイクは人々を一つにまとめ、小さな
町にエンジンをかける。



『サイエンス・クエスト 科学の冒険 宇宙の生命、死の意味、数の世界』
アイリック・ニュート 著 枇谷 玲子 訳
NHK出版



あなたは、宇宙人って信じますか？
死を、どう見つめますか？
数の世界って、数学だけだと思っはいませんか？
科学を通して世界を冒険しましょう！
学校では教えてくれない、科学の疑問に答えてくれる本です。

『戦火の子どもたちに学んだこと』

アフガン、イラクから福島までの取材ノート』
西谷 文和 著
かがわ出版



アフガニスタン・イラクという国には、どのようなイメージを持っていますか？
紛争・テロ等の絶えない危険な地域。
作者はまさに、その場所に自ら潜入して、取材をしています。
いつも、お腹をすかせているこどもたち。
学校に行きたくてもいけないこどもたち。
まず、その国の現状を知ることが、私たち日本人ができることの第一歩。

『空中トライアングル』

草野 たき 著
講談社

律子には、イケメンで成績優秀、そのうえ性格も申し分のない琢己という彼氏がいた。進学も推薦でいける女子高に決め、将来の不安が何もないと思いつ込んでいた。そこへ、突然、6年ぶりに幼なじみの圭が現れた。再会に心が揺れ、昔の様に仲良くなりたいたいと願う律子。実は、律子・琢己・圭は幼稚園時代からいつも一緒にいる仲間だったのだ。

ところが、そんな律子の思いが、甘いものだと気づかされる事態が、次々に起こる。



『パンとバラ ローザとジェイクの物語』

キャサリン・パターソン 作 岡本 浜江 訳
偕成社

1912年にアメリカ東部ローレンスの町で、イタリア人移民労働者のストライキが勃発した。

「パンがほしい。それだけじゃなく、心や魂にも食べ物を」をスローガンに、ストライキは激化する。

ストライキの混乱の中、イタリア人移民の娘ローザと貧しい少年ジェイクは出会う。

そして二人の運命は…

